

めあて：基本的な学習習慣をきちんと身に付ける

「成長」や「学び」の特徴

- 一人で学習の内容や方法を決めることはまだ無理です。家族の手助けが欠かせません。
- 「やったね！」「よくできたね！」まわりのほめ言葉が、すばらしい意欲を生み出します。
- いろんなことに興味・関心を持ち、何でも知りたがりです。
- 「早寝早起き」「しっかり朝食をとる」「朝の排便」「正しい姿勢で座る」などの基本的な生活習慣が身に付くと、学習習慣も身に付きます。

学習内容の特色(学校で)

- 「読み、書き、計算」など、基礎的・基本的な学習が始まります。
- 教科ごとの45分間授業が基本です。先生の話をしっかり聞いて学習します。
- 生活と結びついた学習が多く、具体物を使ったり、実際に体験したりします。
- 繰り返し練習することで、力のつく学習内容がたくさんあります。
- 「鉛筆を正しく持つ」「明日の学習を準備する」「整理整頓をする」も、基本となる学習です。



家庭学習のポイント!!

その1 最後までやり終える！ ～家族も一緒に根くらべ～

「宿題は最後までやること」を守らせましょう。家族から見えるところで学習させ、最後までやったかどうかを必ず家族の目で点検しましょう。テレビやゲームも、時間のけじめをきちんと守らせましょう。ねばり強く働きかけることが大切です。

その2 子どもにも家事を！ ～高学年・中学生になっても～

家庭で、子どもにできる仕事を見つけてください。家族の一員としての自覚が育つとともに、学習に必要な持続力、集中力、根気などが育まれます。こうした家事の分担は、学年が上がっても続けてほしいことです。

その3 子どもが見ている！ ～子は親のうしろ姿を見て育つ～

大人が、お手本となるような「学ぶ」姿勢を見せましょう。家族ぐるみでよりよい学習習慣づくりに努めることが大切です。読書はとても効果的です。

～子どもたちへ～

- つくえの上をきちんと片付けましょう。
- 学習に必要な道具をそろえましょう。
- 学校からのプリント類を確かめ、宿題やお家の方へ渡すものなどを確認しましょう。

こんな家庭学習をしてみよう!!

※はお家の方が参考にしてください。

宿題は…

全部するようにしよう。 ※宿題をやり終える子どもにしましょう。低学年のうちは、お家の方の見守り(アドバイス)が必要です。

国語では…

- ひらがな・カタカナ・漢字の練習は、お手本を見て、正しく書けるようにしましょう。(漢字練習)
- 教科書などを、進んで声を出して読みましょう。暗唱できるくらいに読みましょう。(音読) ※聞いてあげてください。
- 好きな本や教科書の文などをノートに写してていねいに書きましょう。(視写)  
※句読点や、一字下げに気を付けて写せているかを見てあげてください。
- おもしろかったことなどを文に書きましょう。絵日記にしたり、手紙にしたり、いろいろな書き方を工夫しましょう。(作文)  
※読んで感想や返事を書いてあげてください。

算数では…

- 速さを読まずに、楽しみながら計算に慣れるようにしましょう。正しく計算ができるようになれば、少しずつスピードを上げて練習してみましょう。(計算)
- たし算やひき算のお話(問題)を作りましょう。(問題作り) ※問題に答えてあげてください。買い物に出かけるのもよいです。

他にはこんなことを…

- 音話の本や科学的なことについて書いた本など、いろいろな読み物をたくさん読みましょう。
- いろいろなことに対して、「なぜだろう?」と思う気持ちもてるようになろう。 ※なるべく子どもの疑問に答えてあげてください。



## めあて：自ら机に向かう姿勢を育てる

### 「成長」や「学び」の特徴

- 自立心が芽生え、自分でやろうとすることが多くなりますが、まだ手助けは必要です。
- 好奇心が旺盛で、行動範囲も広がります。
- みんなと行動することを好むとともに、口答えや反抗が少しずつ見られるようになります。
- 家族の温かい助言や励ましの言葉が、やる気を起こさせます。

### 学習内容の特色(学校で)

- 「総合的な学習の時間」や「社会科」「理科」の学習が始まり、学習範囲も大きく広がります。
- 地図帳、辞典などを使い、調べ学習をすることが多くなります。
- 新しい漢字を、たくさん習います。(3・4年生とも200字ずつ)
- 算数では、分数や小数など、少しずつ抽象的な内容を学び始めます。
- 四則計算(+・-・×・÷)の基礎・基本を徹底して学びます。



## 家庭学習のポイント!!

### その1 宿題以外の学習にも挑戦！ ～すすんで学ぶ好奇心を～

宿題以外の自主的な学習に積極的に取り組ませ、家庭学習のレベルアップを図っていくと良いでしょう。そのためにも、身のまわりの自然や社会の出来事にも目が向くように働きかけましょう。家事を分担し、進んで行くことも、りっぱな学習です。

### その2 テレビやゲームは、時間を決めて！ ～家族の協力を～

テレビやゲームを夢中になって、時間がだらだらと長くなることがあります。けじめをつけさせることが、自律心や学習への集中力を育てることにもなります。根負けせずに、アドバイスし続けましょう。また、親のテレビを見る姿勢も大切です。

### その3 ほかの子どもと比べない！ ～「がんばり」を本気でほめる～

学習に少しずつ個人差が出てくる頃です。友だちや兄弟・姉妹で成長を比べることは避けて、「がんばり」を見逃さずに、本気でほめましょう。

### ～子どもたちへ～

- 言われる前に自分から進んでやりましょう。
- 机の上を片付け、テレビや音楽を消して勉強しましょう。
- 学校からのプリント類をお家の方に渡しましょう。
- 答え合わせをして、まちがいを直しましょう。

## こんな家庭学習をしてみよう!!

※はお家の方が参考にしてください。

### 宿題は・・・

なるべく自分の力で全部できるようになろう。 ※子どもの力に合った内容や量になっているか、必要な時は、先生とも相談してみてください。

### 国語では・・・

- 漢字・ローマ字の練習は書き順、読み、送り仮名に注意して正しく書きましょう。文字の組み立ても考えながら練習しましょう。(漢字練習)
- 声の大きさ・速さ・間の取り方に気を付けて、気持ちや様子が表れるように読みましょう。(音読)
- その日にあったことを、組み立てを考えて、つなぎ言葉も使って書きましょう。(作文)
- 教科書に出てきた言葉の意味を調べたり、その言葉を使って文章を作ったりしてみましょう。(国語辞典・漢字辞典の活用)

### 算数では・・・

- 繰り返し練習しましょう。計算の仕組みも考えながら計算しましょう。少しずつ速く計算ができるようになろう。(計算)
- 式を立ててから、問題を作りましょう。身のまわりの出来事を問題にしてみましょう。(問題作り)
- 定規やコンパスなどに慣れるように、普段の生活の中でもどんどん使ってみましょう。(定規などの活用)

### 他にはこんなことを・・・

- 物語や詩の本、歴史や科学の本、スポーツの本など、いろいろな種類の本を読みましょう。
- 地域の行事や子ども会の活動などの学びの場に積極的に参加しましょう。



めあて：自ら予定を立て、自力で学習を進める

「成長」や「学び」の特徴

- 一人前に接してもらっているか、大切にされているかなど、大人の評価が気になります。考える力も大人並みになります。
- 自分を客観的に見つめたり、友だちと自分を比べたりするようになります。
- 得意な教科と苦手な教科を意識し始めます。
- 先生や家族のアドバイスにより、学習に対する意欲や興味・関心が大きく左右されます。

学習内容の特色(学校で)

- 小学校の学習のまとめをして、中学校につなげる大切な学年です。
- 「家庭科」の学習が始まり、衣食住の基礎・基本を学びます。
- 学習内容が多くなる上に、社会や世界に目を向けた学習もします。
- 筋道立てて考える論理的な内容の学習や抽象的な内容の学習が増えてきます。
- 自分で課題を見つけ、解決していく学習(問題解決的な学習)が多くなります。
- 自ら学ぶことの面白さや楽しさを体験させ「学び方」や「ものの考え方」を育てます。



家庭学習のポイント!!

その1 予定を立て、計画的な学習を！ ～勉強時間を決めて～

その日の予定を立て、見直しをもって学習させましょう。必ず学習する時間帯の設定をさせましょう。最初は、予定通りできないこともあります。長い目で見守りましょう。

その2 今一度、基本的な生活習慣の見直しを！ ～生活にリズムを～

「早寝早起き」「朝食をとる」「朝に排便を済ませる」「テレビやゲームの時間を決める」など、中学校生活に向けて、今一度生活習慣の見直しをさせましょう。

家事の分担も積極的に進めましょう。

その3 目標に向かって努力することの大切さを！

子どもの将来の夢や希望、勉強する目的や勉強方法、学校の学習の様子や親の失敗談などを話題にして、目標をもって努力することの大切さを伝えましょう。

～子どもたちへ～

- 机の上を整理整頓し、学習用具をそろえましょう。
- 集中できる環境にしましょう。
- いろいろな教科の学習をバランスよくしましょう。

こんな家庭学習をしてみよう!!

宿題は・・・

学校での学習を振り返り、教科書やノートを参考にして、苦手な内容もねばり強く取り組むようにしましょう。

国語では・・・

- 学習した漢字を使ってみましょう。漢字の由来や意味も一緒に考えながら覚えましょう。(漢字練習)
- 強弱、速さ、間の取り方を工夫し、気持ちや様子が伝わるように読んでみましょう。(音読)
- 新聞やニュースから興味のある事柄を見つけて意見文(感想や自分の考え)を書いてみましょう。(作文)

算数では・・・

- 分数や小数の計算では、答えが出るまで途中の計算を書き残すようにして、正しくできるまで練習しましょう。(計算)
- 文章問題は自分の考えを図や式、言葉でも説明できるようにしましょう。(文章問題)
- 生活の中で、比例、割合、立体などが使われているものを進んで探してみましょう。(身のまわりの算数的事象)
- わからない問題があってもそのままにせず、時間をかけて粘り強く取り組む姿勢を身に付けましょう。一つの考え方(解き方)だけではなく、他の考え方(解き方)もないのかを考える習慣を身に付けましょう。(思考)

他にはこんなことを・・・

- 古典や伝記、科学、芸術など、読書のジャンルを広げてみましょう。同じ作者の本、同じテーマの本などを読み比べてみましょう。
- 興味・関心のある事や疑問に思った事など、テーマを決めて、自由研究に取り組んでみましょう。